

『お花いっぱい町づくりをしませんか』

外来 看護師 板村 純子

私はこの度、七尾市の『第3回花いっぱいコンクール 個人地植え（花壇）の部』において最優秀賞を受賞することができ、大変うれしく思っております。

この『花いっぱいコンクール』は平成25年に始まりました。私は第1回から参加し、今回ようやく最優秀賞をいただくことができました。9月12日には七尾市中島町の能登演劇堂で表彰を受けました。

私はお花がとても好きですが、これは七尾病院に務めたことがきっかけです。七尾病院は「花のある病院」のキャッチフレーズのとおり、私が初めて就職した時も、たくさんの花が咲きとても印象的だったことを思い出します。そして、入院患者さんが、雪の下から顔を出したパンジーを見て「私も病気に負けとられん」と花に励まされている様子に感動したことも覚えています。このように花に囲まれて勤務しているうちに、お花が大好きになったのです。

それからは自宅でも花を植えることを楽しみました。我が家の花壇は、自宅玄関の正面にあります。花を作り始めて15年ほどになりますが、町内の方々が「毎年楽しみにしている」と言って下さいます。また、老人会の勉強会で『お花の話』をさせていただいたこともあります。お花の世話は毎日大変ですが、喜んでくださる声にやる気を起こし、春は



チューリップ、夏はサルビアやマリーゴールドなどたくさんの花を植えています。毎年少しずつ花数を増やし花壇のレイアウトの工夫をし、世話を続けてきたことが今回の受賞につながったのではないかと思います。まさに『継続は力なり！』ですね。

これからも、大好きなお花に囲まれた生活を送りたいと思います。皆さんもお花を植えて、お花いっぱいの町作りをしませんか？

